

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2023

3月中旬～4月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース (ゆっくり歩いて1時間)
- - - おてがるコース (ゆっくり歩いて30分)



いきもの
二ホンアカガエル(幼生)(アカガエル科)
天敵の少ない冬に産卵するカエル。田んぼや水路の中に卵がないか探してみましょう。そして、オタマジャクシになって動く様子を観察しましょう。

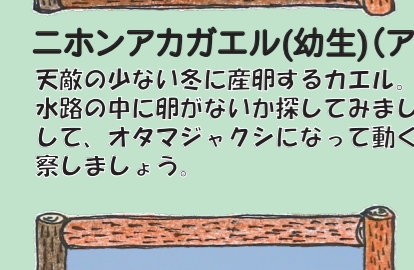


ツバメ(ツバメ科)
昔からツバメの鳴き声は「土食って虫食ってち洪〜い」と言われます。巣を作るために土をせっせと集める様子から、こんな言葉が生まれたのかもしれない。

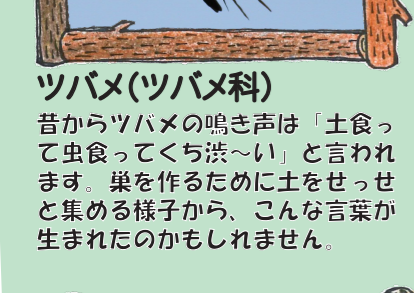


ウグイス(ウグイス科)
「ほーほけきょ」と春の訪れを告げる鳥。うつくし色といえは鮮やかな黄緑色のことだけど、本物のウグイスは地味で目立たない色をしています。

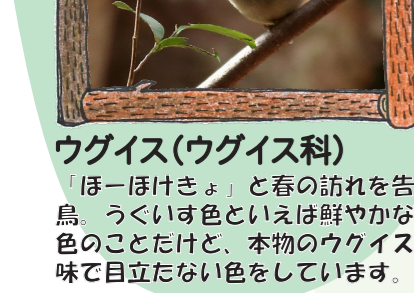
オオイヌノフグリ(オオバコ科)
ヨーロッパ原産の青い花。この花が咲くと一挙に春らしさに包まれる感じがします。



コバノミツバツツジ(ツツジ科)
サクラと並んで、春の里山をいろいろの代表的なツツジ。材は、煙の出ない焚きつけ材として、大切にされてきたそうです。

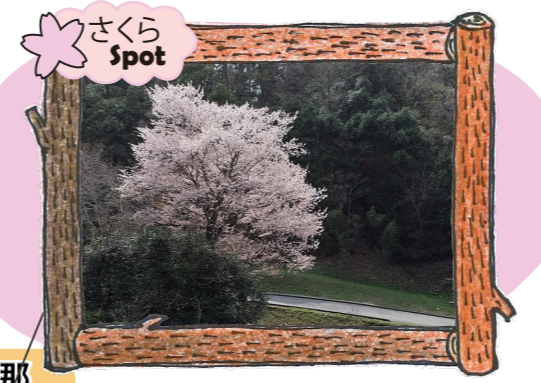


カスミザクラ(バラ科)
ヤマザクラが散る頃に咲き始めるサクラ。見たためヤマザクラによく似ています。(4月中旬～)



美林の山桜
ヤマザクラ、カスミザクラ… 開花をつなぐサクラ開花リレー

タンポポいろいろ
園内にはいろいろなしゅるいのタンポポが咲きます。探してみてください。



さくら Spot
ヤマザクラ(バラ科)
園内のサクラの中でもいち早く咲くサクラ。花と一緒に紅い新芽も顔を出し、早春の里山をいろどります。(4月上旬)



タネツケバナ(アブラナ科)
ナスナによく似ていますが、茎からのびる果実の部分が違います。晴れた日、はちまちと音を立てて果実が割れ、たねを飛ばします。



ヤマウグイスカグラ(スイカズラ科)
この花が咲くと「ウグイスがお神楽を踊る」というのが名前の由来だそう。昔の人々も、春の訪れを喜んでいたのでしょね。

田畑のまわり



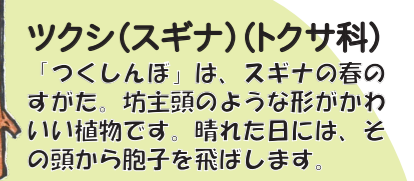
ホトケノザ(シソ科)
春の七草とよく間違えられますが、現在のホトケノザはこちら。葉の形が「仏の座」に見えることからこの名がつけました。



ナガバノタチツボスミレ(スミレ科)
園内でよくみられるスミレの一種。他にも色や形の違うさまざまなスミレが園内各所でみられますよ。



キブシ(キブシ科)
小さな花が房になって垂れ下がり、まるでかんざしのような花を咲かせる木です。



ツクシ(スギナ)(トクサ科)
「つくしんぼ」は、スギナの春のすがた。坊主頭のような形がかわい植物です。晴れた日には、その頭から胞子を飛ばします。



春の味覚
ヨモギ(キク科)
早春から晩秋まで年中みられる野草。よもぎ団子にして食べる他、薬やお灸の材料にもつかわれます。



カンサイタンポポ



セイヨウタンポポ



シロバナタンポポ